



南部一郎の
かんたんカップケーキ



レシピ：一関市地産地消推進員
調理協力：若神子亭

【材料:5人分】(ミニ紙コップ5個分)
●南部一郎(ペースト)…大さじ2 ●米粉・グラニュー糖…各大さじ3 ●卵…1個 ●ベーキングパウダー…小さじ1 ●バター…10g
「デコレーション用」
●生クリーム…50cc ●グラニュー糖…大さじ1
●飾り用果物・菓子(好みで)…適量

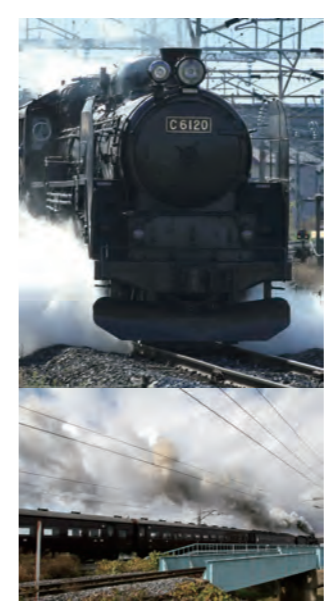
【作り方】
①カボチャ(南部一郎)をレンジで温める(3分)。皮から身を取り出しペースト状にする②紙コップにバター(分量外)を塗る③ボウルにバターとグラニュー糖を入れ、レンジで30秒温め、混ぜる→卵を加えてよく混ぜた後、ベーキングパウダーと米粉を入れてよく混ぜる④②の紙コップに③を入れ(等分)、レンジに並べて2分(750W)温める→紙コップから取り出す⑤グラニュー糖を加えた生クリームを八分立てにする④のカップケーキにデコレーションする(紙コップのままデコレーションしても良い)

★今月の素材「南部一郎カボチャ」
日本在来種(鶴首カボチャ)を改良した日本カボチャです。南部は南部藩から、一郎は鶴首カボチャの種を譲ってくれた人から、それぞれにちなんで名付けられました。甘みが強く(マンゴーの糖度と同じくらい)、生でも食べることができます。一関市巖美町の「骨寺荘園地区」で特産化に取り組んでいます。



COVER STORY

響く汽笛
復興へのエール



かつて、東北発の特急「はつかり」や寝台特急「はくつる」をけん引し、東北本線の花形だったC61型蒸気機関車が11月19・20の両日、一ノ関駅から北上駅間を運行しました。
このイベントは、復興へ向けて頑張る岩手に元気を送るとも

に平泉の世界遺産登録を記念し企画されたもの。17日には、県内の被災者などを招待した試乗会も催されました。
初冬の岩手路を駆け抜ける蒸気機関車の雄姿と鳴り響く汽笛が、復興へのエールを届けてくれました。

CONTENTS

- 02 地産地消レシピ
南部一郎のかんたんカップケーキ
- 02 COVER STORY
響く汽笛 復興へのエール
- 03 特集 不変を貫く 不動の美学 本寺に生きる。
- 16 市議会議員 増員選挙 藤沢地域から3人が選出
- 17 Pick_Up
藤沢・B&G 海洋センターでウオーターボーイズショー
- 18 百年目の寿
畠山志津可さん、及川キミさん、小野寺フユミさん、菅原ナツさん、千葉ナミ子さん、村上仁志さん
- 20 まちのトピックス
市民のひろば
- 22 まちかどクローズアップ(祭りプロジェクト) /キッズ写真館/ふれーふれークラブ(猿沢中) /笑顔でGOOD(及川春菜さん) /ウチのこ自慢
- 24 12月の健康コーナー
- 26 News & Information
図書館だより/博物館だより/掲示板/暮らしの情報
- 32 わたしの夢
及川涼香さん(南小)

不変を貫く不動の美学
本寺に生きる。

中世荘園絵図の景観が今なお残る貴重な遺跡
未来に伝えたい日本の農村風景



写真 愛犬の散歩は日課。佐々木勲さん(巖美町字駒形)。巖美町字神要害の小道で。

ここには、中世から変わらない美しい風景がある。
ここには、中世から変わらない温かい人情がある。
ここには、日本の農村を再起動するヒントがある。